

## 令和元年度 文教委員会資料③

【所管事務の調査（報告）】

平成30年度 公益財団法人川崎市スポーツ協会

「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

資料 1 経営改善及び連携・活用に関する取組評価（公益財団法人川崎市スポーツ協会）

参考資料 1 公益財団法人川崎市スポーツ協会「経営改善及び連携・活用に関する方針」

市 民 文 化 局

（令和元年8月22日）

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価

## (平成30(2018)年度)

<b>法人名(団体名)</b>	公益財団法人川崎市スポーツ協会	<b>所管課</b>	市民文化局市民スポーツ室
-----------------	-----------------	------------	--------------

### 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

#### 本市施策における法人の役割

川崎市では、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境を整備し、健康増進やコミュニティの形成を図るため、生涯スポーツの推進に力を入れています。また、競技力の向上を目指し、全国・世界レベルに通用する選手や指導者の育成を図るとともに、ホームタウンスポーツ活動を振興し、スポーツを通して市民に川崎への愛着と誇り、連帯感を育むことを行っています。

川崎市スポーツ協会においては、

- ① 子供から高齢者まで幅広い世代を対象に裾野を広げ、数多くの種目のスポーツ教室を開催して、スポーツ体験機会の拡大を図る。
- ② 多様化するスポーツの中で市民のニーズを的確に捉え、競技人口の多少にかかわらず専門性を発揮しながら、生涯スポーツ・競技スポーツ・ホームタウンスポーツの振興を図る
- ③ 市民へのスポーツ振興や各競技の普及を目的にスポーツ指導者の育成や、選手強化、競技の底辺の拡大を図るために中間支援組織として、スポーツ協会に加盟している37競技団体とこれまでに連携を強化し、市と各団体のつなぎ役を担う。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
			スポーツ・文化芸術を振興する
	分野別計画	川崎市スポーツ推進計画	

#### 4カ年計画の目標

- 1 スポーツを市民一人一人の生活に根付いた文化にすることと、市民へのスポーツ振興や各競技の普及を行うため、市民ニーズに合わせた教室や幅広い対象に裾野を広げ、多種目のスポーツ教室等の事業を実施していきます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて機運を盛り上げていくため、オリパラに関連した体験講座・講演会を実施します。
- 2 スポーツ活動の普及・振興のために必要不可欠な指導者の養成と次世代を担う人材の育成を行うため、指導者の研修を行うとともに、スポーツ指導者の派遣を行っていきます。
- 3 市民に快適なスポーツ施設を提供するとともに、施設管理施設にて、市民のニーズにあった事業実施及び随時、新規指定管理業務等への参入を行い、市民へのスポーツの普及・振興を行っていきます。

### 2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	スポーツ振興事業	市民大会等参加者数	人	29,419	29,430	30,111	a	A	I
		オリンピック・パラリンピック関連事業・講演会等参加者数	人	5,519	5,600	7,669	a		
		スポーツ教室等参加者数	人	2,631	2,700	3,131	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	11,589	15,672	13,006	1)	(1)	
②	指導者育成・派遣事業	指導者派遣団体の延べ数	団体	19	19	17	c	D	II
		指導者派遣延べ日数	日	299	300	171	d		
		指導者研修会	回	1	2	1	b		
		事業別の行政サービスコスト	千円	442	54	65	4)	(4)	
③	施設管理運営事業	その他施設運営獲得数	件	3	4	5	a	B	I
		管理運営収入	千円	34,676	54,351	39,051	b		
		事業別の行政サービスコスト	千円	△ 4,604	△ 3,080	△ 9,340	1)	(2)	

### 3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	正味財産額	正味財産の増加	千円	192,952	177,414	183,276	a	A	I
②	正味財産収入の増加	正味財産の収入額	千円	172,868	170,657	176,551	a	A	I
③	正味財産増減計算書の当期増減額	当期経常増減額	千円	△ 17,055	△ 16,939	△ 9,675	a	A	I

### 4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	コンプライアンス遵守に係る法人組織体制の構築	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	1	0	0	a	E	II
②	人材育成等の研修計画	研修会・協議会等への参加者数	人	2	4	14	a	A	I
③	適正な業務運営	定期的な運営会議の開催数	回	4	4	10	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

「経営健全化に向けた取組」や「業務・組織に関する取組」については、全般にわたり概ね目標を達成していますが、不適切な支出事務を行ったことによるコンプライアンスの面や収益面での課題があります。不適切な事務処理について検証報告書が提出されましたが、コンプライアンスの徹底や支出事務の手続きの見直しなど、適正な協会運営に向けて検証内容が確実に実行されていくことが重要であり、着実に取り組みを進めていく必要があります。職員が少ない中、様々な事業に取り組んでいることは認識していますが、指定管理業務の獲得だけに頼らない法人運営の検討、人員に見合った事業展開や職員の質の向上に向けた研修などにも取り組む必要があると考えています。「本市施策推進に向けた事業取組」については、目標未達成の取組が多かったですが、スポーツ振興は3つの指標とも目標を上回る実績をあげたことは評価するとともに、市民へのスポーツ振興や各競技の普及を目的に、市民スポーツの普及に寄与しており、本市が求める役割を概ね果たしています。指導者育成・派遣事業は、目標未達成の取組ですが、事業内容・手法の見直し等について、本市と連携して課題解決に取り組む必要があります。施設管理運営事業も目標未達成の取組ですが、新たな施設管理事業を獲得し収益確保に努めています。今後、指定管理業務の参入に向けては、協会としての強みを生かせる企画提案ができるよう過去の課題をしっかりと研究し準備していく必要があります。また、赤字事業の廃止を含めた検討をはじめ、協会独自のスポーツ事業等への参加促進や企業との連携、事業協賛金・賛助会員の新規獲得に向けた取組など、収支改善に向けた取組が必要です。

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)	
事業名	スポーツ振興事業
計画(Plan)	
指標	①市民大会等参加者数、②オリパラ開催数、③スポーツ教室等参加者数
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年の市民大会等開催数は51回から53回で推移している。会場確保が課題です。</li> <li>・オリンピック交流・障害者スポーツ体験講座はH28年度から始まりH29年度は実績36箇所実施。</li> <li>・市民大会やオリパラ事業並びにその他事業での参加者数の増加ができるよう事業内容の工夫を行い開催していきます。</li> </ul>
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体に市民大会の意義の周知や、各競技の魅力伝えていくことでスポーツを実施し大会に参加する市民を増やします。</li> <li>・2020東京オリンピックまでに市内の全小学校で体験・普及振興できるようにします。またオリンピック終了後も障害者スポーツの普及振興を図るため、引き続き事業を行っていきます。</li> <li>・市民のニーズを収集・把握して、参加しやすいプログラム内容にすることでスポーツを実施する市民の増加に取り組みます。</li> </ul>
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体に市民大会の意義を周知・広報を行いながら、大会参加者数を増やしていきます。</li> <li>・今までの実績を基に、市民のニーズに合わせた参加しやすい事業の展開を引き続き行います。</li> <li>・東京オリンピックまでにオリパラの普及振興をおこないます。</li> </ul>

実施結果(Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p><b>【指標1関連】</b> 各競技団体が市民大会を開催するにあたり、広く市民が参加することができる競技会等となるよう市民大会の意義を加盟団体連絡会を活用し、改めて各競技団体に説明し、理解を深めました。 春季大会で「空手道」「合気道」「アメリカンフットボール」の3競技団体が新たに大会を実施しました。 《平成30年度開催実績》 春季市民大会:12種目、市制記念体育大会:24種目、秋季市民大会:20種目</p>
	<p><b>【指標2関連】</b> パラスポーツ指導者と直接、障害に至った原因やパラスポーツを始めた経緯等を聞くとともに、実践することでパラスポーツの難しさを知るなど、学校の総合的な学習の福祉の時間に十分活かせる内容を実施しました。 《平成30年度開催実績》 障害者スポーツ体験事業(やってみるキャラバン):小学校22校、中学校1校、特別支援学校1校、寺子屋3箇所 オリンピック・パラリンピック交流推進事業:中学校10校</p>
	<p><b>【指標3関連】</b> 各事業参加者に直接意見交換等を行い、高齢者にとって参加しやすい時間帯や実施内容についてニーズの把握を行いました。 高齢者向けのスポーツ教室は、ニーズに合わせて午前中の時間帯で、保健所や地域包括支援センターなどと連携し、身近にあるペットボトルをウエイトに使用した筋力作り教室を実施するほか、自宅に引きこもりがちな高齢者の外出させる取組として健康麻雀を実施しました。</p>
	<p><b>【その他】</b></p>

評価(Check)							
本市施策推進に関する指標	目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 市民大会等参加者数	目標値		29,430	29,500	29,500	29,500	人
	説明 各競技団体ごとに開催する市民大会の参加者数 ※個別設定値:27,948(現状値の95%)	実績値	29,419	30,111			
2 オリピック・パラリンピック関連事業・講演会等参加者数	目標値		5,600	5,700	5,800	5,800	人
	説明 市内小・中学校で開催する体験・講演会の参加者数	実績値	5,519	7,669			
3 スポーツ教室等参加者数	目標値		2,700	2,720	2,750	2,770	人
	説明 スポーツ教室等実施事業の参加者数	実績値	2,631	3,131			
指標1に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標3に対する達成度	a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各指標とも目標の達成並びに昨年度の実績を上回ることができました。引き続きそれぞれニーズに合った事業の計画等を行っていきスポーツの普及振興に努めます。</li> <li>・数的な指標のみならず、内容でも評価が得られるようプログラムの内容や大会の運営を充実させていきます。</li> <li>・市民大会は施設確保が難しい中、競技種目が増えたことにより参加者数が大幅に増加し、スポーツの普及を行うことができました。</li> <li>・パラスポーツ体験は、児童にも好評であり、各校教員からも評価を得ることができました。</li> </ul>							

	<b>達成状況</b>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b>

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	15,672	2,849	△ 2,465	849	千円
	説明 事業別の財政支出を算出	実績値	11,589	13,006				
<b>行政サービスコストに対する達成度</b>		<b>1)</b>	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

昨年度実績値より増加しましたが、目標値を達成することができました。引き続き、目標値を達成していくため、事業の計画や収入の確保等に努めます。

	<b>費用対効果</b> <small>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)</small>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>(1)</b>

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I	次年度以降も事業の精査や把握を行い、サービスコストの削減に努めます。また、サービス内容の向上を図るため、アンケートなどの実施を行い、引き続きニーズを把握していきます。

## 本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)

<b>事業名</b>	指導者育成・派遣事業
<b>計画 (Plan)</b>	
<b>指標</b>	①指導者派遣団体の延べ数、②指導者派遣日数、③指導者研修会数
<b>現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者派遣団体の延べ数は現状維持の傾向にある。平成29年度実績19団体</li> <li>各種目団体の協力で微増しています。</li> <li>指導者派遣事業を36団体並びに他種目の団体に周知し、研修を行います。</li> </ul>
<b>行動計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの地域でスポーツ団体から派遣要請があることから、工夫を凝らしてこれらの要請に応えていくようにします。</li> <li>指導者派遣システムの確立には各種目単位の指導者を多く育成する必要があります。このために講習会を開催しより多くの指導者の登録を達成します。</li> <li>指導者研修会をおこなうことにより、多くの指導者の育成並びに新規指導者の発掘・育成をおこない、市民のニーズに合わせた指導者の派遣ができるようにします。</li> </ul>
<b>具体的な取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟37団体に広く広報を行いながら、各地域スポーツ団体からの派遣要請に応えていきます。</li> <li>指導者の確保を行う為に指導者養成講習会を開催し、指導者育成を行います。</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

<b>本市施策推進に向けた活動実績</b>	<p><b>【指標1関連】</b> 加盟団体連絡会などで事業説明を行い競技団体への広報を行うとともに、各競技を実施している市民スポーツ団体(17団体・7競技)に対して、競技力の向上を図るため指導者を派遣しました。</p> <p><b>【指標2関連】</b> 特定の団体に偏りがちな指導者派遣を是正するため当協会での予算の見直しを行い、今年度から1団体の派遣日数を15日から8日に縮減を図り、17団体・1,971人を対象に指導者を延べ171日派遣しました。</p> <p><b>【指標3関連】</b> 加盟団体連絡会において加盟団体並びに指導者を集め、教室や大会の運営という観点から実施手法や会計に関する研修を行いました。</p> <p><b>【その他】</b></p>
-----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	指導者派遣団体の延べ数	目標値	/	19	19	19	19	団体
	説明 多くの派遣要請があり、これらの要請に応えられるようにする ※個別設定値: 18(現状値の95%)	実績値		19	17			
2	指導者派遣延べ日数	目標値	/	300	300	300	300	日
	説明 指導者派遣システムの確立に必要な各種目単位の指導者の育成 ※個別設定値: 284(過去の平均値)	実績値		299	171			
3	指導者研修会	目標値	/	2	2	2	2	回
	説明 加盟37団体並びに他種目の指導者の育成を行うための研修	実績値		1	1			
<b>指標1に対する達成度</b>		<b>C</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>指標2に対する達成度</b>		<b>d</b>						
<b>指標3に対する達成度</b>		<b>b</b>						
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>								
<p>これまで継続して指導者派遣を行ってきた3団体が自立した活動実施に伴い、指導者派遣の要請を終了しました。また平成30年度から一団体あたりの派遣日数を縮減しましたが、団体の活動が年間を通じて滞ることなくできていることから、市民団体の育成に一定の成果が得られていると考えています。今後もスポーツの普及・促進を図るために様々な実施内容や手法、予算の見直しなどを考えながら、より多くの各地域スポーツ団体からのより長い日数の指導者の派遣要請に応えられるよう検討を行っています。(平成30年度新規要請: 1団体)</p> <p>指導者育成講習会について、今後はAED研修や大会等運営での危機管理等の研修も行っていきます。</p>								

	<b>達成状況</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分	区分選択の理由
		D	<ul style="list-style-type: none"> <li>要請団体に派遣を行い競技力の向上の取組を進めているが、市民団体の一部で育成が達成したため、派遣の要請の終了の連絡があり、成果指標である「指導者派遣団体の延べ数」は17団体となり、目標の19団体を達成することはできなかったため。</li> <li>また予算の見直しにより、1団体の派遣日数を縮減したことで成果指標である「指導者派遣延べ日数」は、171日となり、目標値の300日を達成できなかったため。</li> <li>「指導者研修会数」についても1日となり、目標値の2を達成することができなかったため。</li> </ul>

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		54	54	54	54	千円
	説明 事業別の財政支出を算出	実績値	442	65				

行政サービスコストに対する達成度	4)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	------------------------------------------------------------------------------------------------

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

昨年度実績値より減少したが、目標値を達成することができませんでした。引き続き、目標値を達成していくため、経費の削減等に努めます。

	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(4)	3つの指標すべてにおいて目標値を達成できておらず、行政サービスコストも目標値を超えたため。

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅱ	引き続き市民団体並びに加盟団体等の育成を行いながら行政サービスコストの削減を図っていきます。経費の削減や収入の確保となるような取り組みを考えていく必要があります。また、指導者研修については、実務並びに危機管理等の研修も行っていく予定です。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度)	
事業名	施設管理運営事業
計 画 (Plan)	
指標	①その他施設運営数、②管理運営収入
現状	・とどろきアリーナ、青少年の家、富士見公園事務所、宮前スポーツセンター講師派遣等の管理運営を行っています。
行動計画	・次期新規指定管理事業やその他施設の参入を見据え、情報の共有、収集を行いながら検討を行っています。
具体的な取組内容	現在の指定管理者の情報を取得しながら、新規指定管理事業への参入ができるよう準備を行います。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p><b>【指標1関連】</b> 施設管理に関する勉強会などで民間事業者と信頼関係を構築し、指定管理の構成企業になり新たにとどろきアリーナの指定管理を獲得するとともに、川崎市の入札に積極的に参加し富士見公園運動施設の管理運営を獲得しました。</p> <p><b>【指標2関連】</b> 指定管理の構成企業になり新たにとどろきアリーナの指定管理を獲得するとともに、川崎市の入札に積極的に参加し富士見公園運動施設の管理運営を獲得し、その結果管理運営収入が増加しました。</p> <p><b>【その他】</b></p>

評 価 (Check)								
本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	その他施設運営獲得数	目標値		4	4	3	4	件
	説明 公平で平等な利用状況の実現や利用者のニーズに沿った施設運営の為の施設獲得数	実績値	3	5				
2	管理運営収入	目標値		54,351	54,351	49,036	54,351	千円
	説明 利用者のニーズに沿った魅力ある事業の実施	実績値	34,676	39,051				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		b	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
とどろきアリーナ、富士通スタジアム内かわQホール、富士見公園、青少年の家、宮前スポーツセンターでの運営により、施設運営獲得数は目標値を達成することができたが、収入については目標値を達成することができなかった。 2020年度には、指定管理の公募がはじまるので、新規の指定管理に参入できるよう情報の取得に努めます。								

	<b>達成状況</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分	区分選択の理由
		B	新たな施設の管理受託を獲得したため、成果指標である「その他施設運営獲得数が5件となり、目標値を達成することができた。しかしながら、「管理運営収入」は、昨年度の実績より増加したが、目標値を上回ることができなかったため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		△ 3,080	△ 3,080	2,234	△ 3,080	千円
	説明 事業別の財政支出を算出	実績値	△ 4,604	△ 9,340				

行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)		

収入の確保を行いながら経費並びに人件費の縮減(現職員での運用)を行ったため、行政サービスコストのマイナス値が昨年度実績値及び目標値を大幅に上回ることができました。

	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(2)	行政サービスコストの目標値の範囲内であったが、本市施策推進に関する指標の目標値においては、上回ることができなかったため。

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 今後も引き続き収入の確保、経費縮減並びに施設運営獲得数の増加を図っていくための情報取得に努めていきます。

### 3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

項目名	正味財産額
<b>計 画 (Plan)</b>	
指標	正味財産の増加
現状	・会計システムの変更など、会計処理での改善を実施
行動計画	・黒字となる自主事業等の継続、拡大とともに、赤字事業の縮小、廃止にも取り組む必要があります。また、削減された補助金を本部経費や自主事業の利益で賄う予算づくりや事業を実施します。
具体的な取組内容	各事業ごとに経費削減を行い、予算よりも経費削減並びに収入の増加ができるように随時事業管理を行います。

### 実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連】 各事業において、直接経費だけでなく人件費相当額を算定し、事業コストの把握を行いました。把握を行う中で不採算だった市民登山(春・夏)、卓球教室事業を廃止するとともに、各事業の支出を精査し、削減しました。さらに、新たに獲得したとどろきアリーナや富士見公園管理業務に係る職員を本部職員が兼務することにより、新たな人件費の支出額を大幅に削減しました。
	【その他】

### 評 価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	正味財産の増加	目標値		177,414	173,680	169,946	171,680	千円
	説明 事業の見直し、本部経緯費等の削減	実績値	192,952	183,276				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
新規事業の参入、とどろきアリーナにおける指定管理事業や富士見公園運動施設の管理運営の受託により、収入の確保等で目標値を上回ることができました。引き続き、正味財産期末残高が減少しないよう収入の確保並びに経費の削減に努めます。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

### 改 善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

経営健全化に向けた取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	正味財産収入の増加
計画(Plan)	
指標	正味財産の収入額
現状	受取入会金、事業参加料、管理運営収益等は横ばいとなっている。
行動計画	オリンピック・パラリンピック関連事業の継続・拡大や事業参加料収入・協賛金等の収入を増やしていくための取り組みを進めていきます。
具体的な取組内容	新規事業並びに事業の精査を随時行い、参加料収入の確保・増加を行っていきます。

実施結果(Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p><b>【指標1関連】</b> 民間事業者と信頼関係を構築し、指定管理の構成企業になり新たにとどろきアリーナの指定管理を獲得するとともに、川崎市の入札に積極的に参加し富士見公園運動施設の管理運営を獲得し、その結果管理運営収入が増加しました。また、今年度から人件費を各事業に従事割合で換算し、事業コストの把握を行いました。把握を行う中で、参加料収入の増加を図るためかわQホールにおける教室の内容を見直し、不人気教室の廃止と人気のある講師による教室の増加などを行い、施設管理運営事業の拡充を行い、収入の増加に努めました。</p> <p><b>【その他】</b></p>

評価(Check)								
経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	正味財産の収入額	目標値		170,657	179,266	179,266	181,266	千円
	説明 補助金等の削減を補うための重要な指標となる。	実績値	172,868	176,551				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
富士見公園管理運営受託等により目標を上回るとともに、昨年度の実績より増加することができました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 事業参加料の増加に向けた取組や施設管理運営等の新規事業の参入等を行い収入の確保に努めます。

経営健全化に向けた取組③(平成30(2018)年度)	
項目名	正味財産増減計算書の当期増減額
計 画 (Plan)	
指標	当期経常増減額
現状	光熱水料費や消耗品費等の経費削減策を実施しています。
行動計画	引き続き経費削減策として管理固定費から人件費、事業経費削減を行いながら新規事業への参入を検討します。
具体的な取組内容	各事業ごとに経費削減を行い、予算よりも経費削減並びに収入の増加ができるように随時事業管理を行います。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<b>【指標1関連】</b> これまでは、新規事業を開始する場合は、新たな人員を確保するなどの措置を実施しておりましたが、人件費の抑制を図るため、平成30年度に受託した新規事業(とどろきアリーナや富士見公園の受託など)については、市民サービスの低下を招かぬよう、従前の人員や体制により受託しました。
	<b>【その他】</b> コスト意識を全職員で共有するため事務局会議を月1回開催し、各事業の進捗状況と共に、コストの削減や収益の拡大についての意見交換を行い、業務分担の見直しや安価なリース物品への更新を行いました。

評 価 (Check)								
経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	当期経常増減額	目標値		△ 16,939	△ 3,734	△ 3,734	△ 1,734	千円
	説明 補助金の削減を補うための重要な指標 ※個別設定値: △17,908 (現状値の105%)	実績値	△ 17,055	△ 9,675				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
新規事業を受託するにあたり、人件費の縮減が行えたため、当期経常増減額のマイナス値の大幅な縮減を図ることができました。								

	<b>達成状況</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分	区分選択の理由
		A	新規獲得した事業により、成果指標である「当期経常増減額」のマイナス値を平成30年度に目標値を大きく上回る大幅な縮減を行うことができたため。

改 善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅰ 今後も引き続き現状の施設管理運営受託及び指定管理事業を継続することにより収入の確保を行いながら、人件費並びに経費の削減に努め経常増減額のマイナス値の縮小を図っていきます。また、全職員でコスト意識を持ちながら業務執行を行うなど取り組んでまいります。

### 4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)

項目名	コンプライアンス遵守に係る法人組織体制の構築
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	コンプライアンスについて、随時理事・職員を集め研修を行っている。
行動計画	今後も随時理事・職員等を対象にコンプライアンスについて研修を行い健全な組織構築を行います。
具体的な取組内容	コンプライアンス研修を実施します。

### 実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p><b>【指標1関連】</b> 平成29年度川崎市立中学校等におけるオリンピック・パラリンピック交流推進事業事務で、教育委員会健康教育課からの依頼により、他事業である「記念誌印刷代」及び「バス借上料」を支出してまい、当該年度前でありましたがコンプライアンスに反する事案が発生しました。今回の問題発覚後、事案の反省をするとともにコンプライアンスに関する事案を2度と起こさないよう改めて不祥事防止に関する研修を全職員で行い、意識の向上を図りました。</p> <p><b>【その他】</b></p>
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値		0	0	0	0	件
	説明 公益財団法人としての健全な組織の構築に向けた重要な指標	実績値	1	0				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>								
平成30年度においては、コンプライアンスに反する事案の発生はなく実績値は目標値を達成しましたが、平成29年度の教育委員会からの委託事業「川崎市立中学校等におけるオリンピック・パラリンピック交流推進事業業務」について、教育委員会事務局健康教育課からの依頼に基づき目的外の支出を行った事案があったことが外部からの指摘により判明したため、平成29年度の実績値を修正するとともに、2度とコンプライアンスに関する事案を起こさないよう、定期的にコンプライアンス研修を実施し、法令遵守の徹底、職員の意識向上・改善を進めていくこととしました。なお、目的外の支出を行った原因としては、支出内容をチェック確認する前に支払ってしまったこと、目的外支出がわかった時点で毅然とした態度で臨まなかったこと、再度の目的外支出を拒むことができなかったことなどが挙げられます。								

	<b>達成状況</b>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>E</b> 平成30年度において、コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでしたが、教育委員会委託事業「平成29年度川崎市立中学校等におけるオリンピック・パラリンピック交流推進事業業務」において、教育委員会事務局健康教育課からの依頼に基づき目的外の支出を行ったにもかかわらず、平成29年度実績値を「0」としており、外部からの指摘がなければ違反案件を発見できない組織体質・管理体制であったため。

### 改善 (Action)

<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性の具体的内容</b>
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>II</b> 引き続きコンプライアンス研修を行い、法令遵守の徹底や職員の意識向上・改善に努めます。また、更にコンプライアンスを徹底するため、倫理規程及び倫理委員会規程を整備します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

業務・組織に関する取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	人材育成等の研修計画
計画(Plan)	
指標	研修会・協議会等への参加者数
現状	公益に資する活動をしているか、公益目的事業を行う能力・体制があるかなど、公益法人が満たさなければならない基準が厳格化されており、経理的基礎・技術的能力が必要となっている。
行動計画	職員・プロパーの資質向上のため、意識改革と知識の習得・技術の向上を図る研修・研究会への参加やOJTによる人材育成を行います。
具体的な取組内容	公益法人としての確に運営する知識及びスポーツ施策の的確な助言・指導を担う人材の育成及び経理的知識の向上を図るための研修や研究会に参加します。

実施結果(Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 定期的な会計、公益法人としての研修に2名、AED講習に1名、スポーツ少年団指導者研修会に1名が参加しました。また、コンプライアンス研修(不祥事防止)を協会内において実施しました。
	【その他】

評価(Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	研修会・協議会等への参加者数	目標値		4	4	4	4	人
	説明 資質の向上等を図るための研修会への参加者数	実績値	2	14				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
定期的な研修会へ参加するとともに、スポーツ事業での事故に対応できるよう「AED講習会」に参加し職員の危機管理意識の向上が図れました。また、コンプライアンス研修を実施し、法令遵守に対する意識の改革に努めました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	各種研修会に参加したことにより、成果指標である「研修会・協議会等への参加者数」が目標値を上回ったため。

改善(Action)	
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 専門性の確保が公益法人の強みでもあるので引き続きスポーツに関する研修を行うとともに、経理、総務や指導者としての研修だけではなく、コンプライアンス研修も行っていきます。また、全職員を対象にマルチな事業運営ができるよう様々な分野の研修会へ参加していきます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

業務・組織に関する取組③(平成30(2018)年度)	
項目名	適正な業務運営
計画(Plan)	
指標	定期的な運営会議の開催数
現状	公益法人として、組織等の整備を随時進め、適正な公益法人としての活動を行っています。
行動計画	定期的な経営会議を開催し、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定及び評価を行い改善していきます。
具体的な取組内容	経営会議を適時開催し、協会全体の経営計画並びに現状の把握を行い改善していきます。

実施結果(Do)	
業務・組織に関する活動実績	<b>【指標1関連】</b> 定期的に役員会(年3回)、理事会(年2回)、評議員会(年2回)、監査(年1回)、財務・総務・事業・競技委員会(年2回)を開催し、協会全体の事業計画及び経営方針の策定並びに評価を行い、改善に努めています。 また、毎月1回事務局会議を開催し、随時事務局内での事業の進捗状況や事業相談・検討等、全職員で理解・把握ができるよう情報の共有に努めています。
	<b>【その他】</b> 教育委員会の委託事業における目的外の支出等コンプライアンスに反する事案発生後、改めて不祥事防止に関する研修を全職員を対象に実施しました。

評価(Check)							
業務・組織に関する指標	目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 定期的な運営会議の開催数	目標値		4	4	4	4	回
説明 組織整備の重要な指標となる ※個別設定値:3(現状値の95%)	実績値	4	10				
指標1に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b> 運営会議の目標を達成できている。今後も引き続き、健全な公益財団法人としての活動ができるよう運営会議を開催していきます。 適正な業務運営を進めるためには、法令順守を徹底しなければならず、今後もコンプライアンスに関する研修を引き続き実施する必要があります。							

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	成果指標である「定期的な運営会議の開催数」が平成30年度は10回開催しており、目標値を上回るとともに、毎月1回事務局会議を開催により、事業の進捗状況や課題に対する検討など協会職員全員で情報共有を実施しているため。

改善(Action)	
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性の具体的な内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 運営会議開催の目標を達成できているが、今後も協会全体の経営方針の策定並びに評価が随時行えるよう運営会議を開催していきます。

**●法人情報**

**(1)財務状況**

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
<b>正味財産増減計算書</b>	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	176,551			
	経常費用	186,227			
	当期経常増減額	△9,676			
	当期一般正味財産増減額	△9,676			
	(指定正味財産増減の部)				
当期指定正味財産増減額					
正味財産期末残高	183,277				
<b>貸借対照表</b>	総資産	207,940			
	流動資産	41,293			
	固定資産	166,646			
	総負債	24,663			
	流動負債	22,366			
	固定負債	2,298			
	正味財産	183,277			
	一般正味財産	73,427			
指定正味財産	109,850				
<b>エラーチェック</b>		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金	3,430				
委託料	25,180				
指定管理料	5,400				
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)	45,000				
(市出捐率)	40.9%				
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)	184.6%				
正味財産比率(正味財産/総資産)	88.1%				
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)	-5.3%				
総資産回転率(経常収益/総資産)	84.9%				
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益)	19.3%				

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>今年度より新規事業として富士見公園管理受託、とどろきアリーナの指定管理施設の構成団体としての参入ができ、またその事業に係る人件費の捻出を現職員で賄う努力をした為、収益が確保でき、昨年度の決算より赤字幅が大幅に縮減できた。</p>	<p>現状の事業の把握・精査を行い、事業の廃止・統合などを検討しながら赤字の縮減に努めるとともに施設管理の受託などの収益増加のための取り組みを進める。また、運営体制や職員体制も検討し、赤字体質の脱却を図っていきたい。</p>	<p>経営状況を立て直すため、引き続き、経常費用を縮減するための自主努力を徹底するとともに、既存事業及び協会の運営体制の見直しを行っていく必要がある。</p>

**(2)役員・職員の状況(令和1年7月1日現在)**

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
<b>役員</b>	1		1	11		2
<b>職員</b>	3			6		3

**【備考】**

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性

# 経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

<b>法人名(団体名)</b>	公益財団法人川崎市スポーツ協会	<b>所管課</b>	市民文化局市民スポーツ室
-----------------	-----------------	------------	--------------

## 経営改善及び連携・活用に関する方針

### 法人の施策概要

**1 事業概要**

- (1) スポーツ文化の普及・振興事業
- (2) スポーツ指導者の養成・確保に関する事業
- (3) スポーツ団体の育成・指導
- (4) 競技力の向上に関する事業
- (5) 受託したスポーツ振興事業の実施
- (6) スポーツ施設等の管理運営
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

**2 設立目的**  
市民のスポーツ文化の普及・振興・競技スポーツの強化及びスポーツに関する指導者・組織の育成を図ることにより、川崎市のスポーツ振興の核づくりに努め、もって明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とします。

**3 法人のミッション**  
市民が日常生活の中で積極的・継続的にスポーツ活動が実践できるように、市民大会の継続開催や市民スポーツ活動の普及・振興及び競技力の向上を重点目標とし、この目標を実現するためにスポーツに関する指導者・組織の育成・支援を図り、川崎市のスポーツ振興の核づくりを実現し、明るく豊かなスポーツライフの形成のために、生涯スポーツの各事業を展開します。

### 本市施策における法人の役割

川崎市では、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境を整備し、健康増進やコミュニティの形成を図るため、生涯スポーツの推進に力を入れています。また、競技力の向上を目指し、全国・世界レベルに通用する選手や指導者の育成を図るとともに、ホームタウンスポーツ活動を振興し、スポーツを通して市民に川崎への愛着と誇り、連帯感を育むことを行っています。

川崎市スポーツ協会においては、

- ① 子供から高齢者まで幅広い世代を対象に裾野を広げ、数多くの種目のスポーツ教室を開催して、スポーツ体験機会の拡大を図る。
- ② 多様化するスポーツの中で市民のニーズを的確に捉え、競技人口の多少にかかわらず専門性を発揮しながら、生涯スポーツ・競技スポーツ・ホームタウンスポーツの振興を図る
- ③ 市民へのスポーツ振興や各競技の普及を目的にスポーツ指導者の育成や、選手強化、競技の底辺の拡大を図るために中間支援組織として、スポーツ協会に加盟している37競技団体とこれまで以上に連携を強化し、市と各団体のつなぎ役を担う。

法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	基本政策	施策
		スポーツ・文化芸術を振興する	スポーツのまちづくりの推進
	分野別計画	川崎市スポーツ推進計画	

### 現状と課題

平成18年度から受託していたスポーツ施設の指定管理が平成28年度に全てなくなるといった厳しい状況になり、人員配置の見直しや給与体系の見直しなど、経営基盤の安定化に向けた内部改革を実施してまいりましたが、平成28年度決算においては、経常収支が赤字となるなど、厳しい経営状況となっております。

一方で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にスポーツに参加する人口の増加が見込まれることから、スポーツを「する」、「観る」、「支える」の観点によりスポーツに取り組む機会の創出や競技力の向上、さらにスポーツを指導する指導者や競技団体の育成など、スポーツ協会と連携を図り、更なるスポーツの普及に取り組む必要があります。また、現行事業の維持を図るとともに、市民参加型の事業を優先的に展開することにより、市民生活に根差した事業の深化を図る必要があります。さらに、少子高齢化が進む中でスポーツにおける次世代の担い手不足も懸念されることから、これまで培ってきた各競技団体やスポーツ団体等の関係を活かし、人材育成に取り組む必要があります。

### 取組の方向性

**(1) 経営改善項目**

- 1 川崎市のスポーツ振興の担い手として、定期的に事業運営会議を開催し、協会全体の経営計画の策定及び評価、施設運営管理状況の把握を行い、公益性の高い組織整備に努める。
- 2 現在実施している事業の評価を進め、事業の見直し、一部廃止、本部経費の削減等を行いながら、効率的・効果的な事業執行を進める。
- 3 自主的な運営に向け、スポーツ施設の次期指定管理事業の獲得を目指す。

**(2) 本市における法人との連携・活用**  
スポーツを「する」、「観る」、「支える」の観点から推進します。

- 1 「する」: 市民大会やスポーツ教室などを開催し、体験機会の拡充を図るとともに、生涯スポーツの推進や競技力の強化を実施します。
- 2 「観る」: 国内外のトップクラスの選手が競うトランポリン競技大会を開催するとともに、パラリンピック競技種目関連の大会の開催の実現に向けた調整を実施します
- 3 「支える」: 指導者や競技団体の育成などスポーツ指導者の育成・強化に努めるとともに、ボランティアの育成を実施します。

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

### 4カ年計画の目標

- 1 スポーツを市民一人一人の生活に根付いた文化にすること、市民へのスポーツ振興や各競技の普及を行うため、市民ニーズに合わせた教室や幅広い対象に裾野を広げ、多種目のスポーツ教室等の事業を実施していきます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて機運を盛り上げていくため、オリパラに関連した体験講座・講演会を実施します。
- 2 スポーツ活動の普及・振興のために必要不可欠な指導者の養成と次世代を担う人材の育成を行うため、指導者の研修を行うとともに、スポーツ指導者の派遣を行います。
- 3 市民に快適なスポーツ施設を提供するとともに、施設管理施設にて、市民のニーズにあった事業実施及び随時、新規指定管理業務等への参入を行い、市民へのスポーツの普及・振興を行います。

### 本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	スポーツ振興事業	市民大会等参加者数	29,419	29,430	29,500	29,500	29,500	人	
		オリンピック・パラリンピック関連事業・講演会等参加者数	5,519	5,600	5,700	5,800	5,800	人	
		スポーツ教室等参加者数	2,631	2,700	2,720	2,750	2,770	人	
		事業別の行政サービスコスト	11,589	15,672	2,849	△ 2,465	849	千円	
②	指導者育成・派遣事業	指導者派遣団体の延べ数	19	19	19	19	19	団体	
		指導者派遣延べ日数	299	300	300	300	300	日	
		指導者研修会	1	2	2	2	2	回	
		事業別の行政サービスコスト	442	54	54	54	54	千円	
③	施設管理運営事業	その他施設運営獲得数	3	4	4	3	4	件	
		管理運営収入	34,676	54,351	54,351	49,036	54,351	千円	
		事業別の行政サービスコスト	△ 4,604	△ 3,080	△ 3,080	2,234	△ 3,080	千円	

### 経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	正味財産額	正味財産の増加	192,952	177,414	173,680	169,946	171,680	千円	
②	正味財産の収入の増加	正味財産の収入額	172,868	170,657	179,266	179,266	181,266	千円	
③	正味財産増減計算書の当期増減額	当期経常増減額	△ 17,055	△ 16,939	△ 3,734	△ 3,734	△ 1,734	千円	

### 業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	コンプライアンスの遵守に係る法人組織体制の構築	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件	
②	人材育成等の研修計画	研修会・協議会等への参加者数	2	4	4	4	4	人	
③	適正な業務運営	定期的な運営会議の開催数	4	4	4	4	4	回	

## 2. 本市施策推進に向けた事業計画①

<b>事業名</b>		スポーツ振興事業						
<b>指標</b>		①市民大会等参加者数、②オリパラ開催数、③スポーツ教室等参加者数						
<b>現状</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年の市民大会等開催数は51回から53回で推移している。会場確保が課題です。</li> <li>・オリンピック交流・障害者スポーツ体験講座はH28年度から始まりH29年度は実績36個所で実施。</li> <li>・市民大会やオリパラ事業並びにその他事業での参加者数の増加ができるよう事業内容の工夫を行い開催していきます。</li> </ul>						
<b>行動計画</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体に市民大会の意義の周知や、各競技の魅力伝えていくことでスポーツを実施し大会に参加する市民を増やします。</li> <li>・2020東京オリンピックまでに市内の全小学校で体験、普及振興できるようにします。またオリンピック終了後も障害者スポーツの普及振興を図るため、引き続き事業を行っていきます。</li> <li>・市民のニーズを収集・把握して、参加しやすいプログラム内容にすることでスポーツを実施する市民の増加に取り組みます。</li> </ul>						
<b>スケジュール</b>		現状値	目標値					
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
<b>指標</b>	1	市民大会等参加者数	29,419	29,430	29,500	29,500	29,500	人
	説明	各競技団体ごとに開催する市民大会の参加者数						
	2	オリンピック・パラリンピック関連事業・講演会等参加者数	5,519	5,600	5,700	5,800	5,800	人
	説明	市内小・中学校で開催する体験・講演会の参加者数						
3	スポーツ教室等参加者数	2,631	2,700	2,720	2,750	2,770	人	
説明	スポーツ教室等実施事業の参加者数							
4	事業別の行政サービスコスト	11,589	15,672	2,849	△ 2,465	849	千円	
説明	事業別の財政支出を算出							

## 本市施策推進に向けた事業計画②

<b>事業名</b>		指導者育成・派遣事業						
<b>指標</b>		①指導者派遣団体の延べ数、②指導者派遣日数、③指導者研修会数						
<b>現状</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者派遣団体の延べ数は現状維持の傾向にある。平成29年度実績19団体</li> <li>・各種目団体の協力で微増しています。</li> <li>・指導者派遣事業を36団体並びに他種目の団体に周知し、研修を行います。</li> </ul>						
<b>行動計画</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地域でスポーツ団体から派遣要請があることから、工夫を凝らしてこれらの要請に応じていくようにします。</li> <li>・指導者派遣システムの確立には各種目単位の指導者を多く育成する必要があります。このために講習会を開催しより多くの指導者の登録を達成します。</li> <li>・指導者研修会をおこなうことにより、多くの指導者の育成並びに新規指導者の発掘・育成をおこない、市民のニーズに合わせた指導者の派遣ができるようにします。</li> </ul>						
<b>スケジュール</b>		現状値	目標値					
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
<b>指標</b>	1	指導者派遣団体の延べ数	19	19	19	19	19	団体
	説明	多くの派遣要請があり、これらの要請に応えられるようにする						
	2	指導者派遣延べ日数	299	300	300	300	300	日
	説明	指導者派遣システムの確立に必要な各種目単位の指導者の育成						
3	指導者研修会	1	2	2	2	2	回	
説明	加盟37団体並びに他種目の指導者の育成を行うための研修							
4	事業別の行政サービスコスト	442	54	54	54	54	千円	
説明	事業別の財政支出を算出							

### 本市施策推進に向けた事業計画③

<b>事業名</b>		施設管理運営事業						
<b>指標</b>		①その他施設運営数、②管理運営収入						
<b>現状</b>		・とどろきアリーナ、青少年の家、富士見公園事務所、宮前スポーツセンター講師派遣等の管理運営を行っています。						
<b>行動計画</b>		・次期新規指定管理事業やその他施設の参入を見据え、情報の共有、収集を行いながら検討を行っています。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	その他施設運営獲得数	3	4	4	3	4	件
	説明	公平で平等な利用状況の実現や利用者のニーズに沿った施設運営の為の施設獲得数						
	2	管理運営収入	34,676	54,351	54,351	49,036	54,351	千円
説明	利用者のニーズに沿った魅力ある事業の実施							
3	事業別の行政サービスコスト	△ 4,604	△ 3,080	△ 3,080	2,234	△ 3,080	千円	
説明	事業別の財政支出を算出							

### 3. 経営健全化に向けた計画①

<b>項目名</b>		正味財産額						
<b>指標</b>		正味財産の増加						
<b>現状</b>		・会計システムの変更など、会計処理での改善を実施						
<b>行動計画</b>		・黒字となる自主事業等の継続、拡大とともに、赤字事業の縮小、廃止にも取り組む必要があります。また、削減された補助金を本部経費や自主事業の利益で賄う予算づくりや事業を実施します。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	正味財産の増加	192,952	177,414	173,680	169,946	171,680	千円
	説明	事業の見直し、本部経緯費等の削減						

### 経営健全化に向けた計画②

<b>項目名</b>		正味財産収入の増加						
<b>指標</b>		正味財産の収入額						
<b>現状</b>		受取入会金、事業参加料、管理運営収益等は横ばいとなっている。						
<b>行動計画</b>		オリンピック・パラリンピック関連事業の継続・拡大や事業参加料収入・協賛金等の収入を増やしていくための取り組みを進めています。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	正味財産の収入額	172,868	170,657	179,266	179,266	181,266	千円
	説明	補助金等の削減を補うための重要な指標となる。						

### 経営健全化に向けた計画③

<b>項目名</b>		正味財産増減計算書の当期増減額							
<b>指標</b>		当期経常増減額							
<b>現状</b>		光熱水料費や消耗品費等の経費削減策を実施しています。							
<b>行動計画</b>		引き続き経費削減策として管理固定費から人件費、事業経費削減を行いながら新規事業への参入を検討します。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	当期経常増減額		△ 17,055	△ 16,939	△ 3,734	△ 3,734	△ 1,734	千円
	説明	補助金の削減を補うための重要な指標							

### 4. 業務・組織に関する計画①

<b>項目名</b>		コンプライアンス遵守に係る法人組織体制の構築							
<b>指標</b>		コンプライアンスに反する事案の発生件数							
<b>現状</b>		コンプライアンスのついて、随時理事・職員を集め研修を行っている。							
<b>行動計画</b>		今後も随時理事・職員等を対象にコンプライアンスについて研修を行い健全な組織構築を行います。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数		0	0	0	0	0	件
	説明	公益財団法人としての健全な組織の構築に向けた重要な指標							

### 業務・組織に関する計画②

<b>項目名</b>		人材育成等の研修計画							
<b>指標</b>		研修会・協議会等への参加者数							
<b>現状</b>		公益に資する活動をしているか、公益目的事業を行う能力・体制があるかなど、公益法人が満たさなければならない基準が厳格化されており、経理的基礎・技術的能力が必要となっている。							
<b>行動計画</b>		職員・プロパーの資質向上のため、意識改革と知識の習得・技術の向上を図る研修・研究会への参加やOJTによる人材育成を行います。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	研修会・協議会等への参加者数		2	4	4	4	4	人
	説明	資質の向上等を図るための研修会への参加者数							

### 業務・組織に関する計画③

<b>項目名</b>		適正な業務運営							
<b>指標</b>		定期的な運営会議の開催数							
<b>現状</b>		公益法人として、組織等の整備を随時進め、適正な公益法人としての活動を行っています。							
<b>行動計画</b>		定期的な運営会議を開催し、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定及び評価を行い改善していきます。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	定期的な運営会議の開催数		4	4	4	4	4	回
	説明	組織整備の重要な指標となる							

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①スポーツ振興事業				
1	市民大会等参加者数 算出方法 各競技団体ごとに実施される市民大会の参加者の合計	29,419人	29,500人	大会開催のチラシ配布やホームページを通してPR活動を行い、大会参加者の増加を目指す。スポーツ施設の使用が既に満杯状況にあるため、将来は学校施設などの有効活用と結びつけて打開策を講じていく。 (参考:H26-H29平均 27,869人)
2	オリパラ関連事業・講演会等参加者数 算出方法 オリンピック・パラリンピック関連事業・講演会等の参加者の合計	5,519人	5,800人	2020年度までに市内全小学校で障害者スポーツ体験会を行うが、大会終了後も市内中学校にも拡大するなど事業継を続していく。 (参考:H26-H29平均 平均 2,438人)
3	スポーツ教室等参加者数 算出方法 スポーツ教室等実施事業の参加者数の合計	2,631人	2,770人	新しい教室事業を企画して参加者数を増やす。長期の休業期を利用してジュニアスポーツスクールを開催。サマースポーツ・ウインタースポーツ教室の開催 (参考:H26-H29平均 4,332人)
4	事業別の行政サービスコスト 算出方法 事業別の財政支出を算出	11,589千円	849千円	自己収入よりも事業費コストが上がらないように経費の削減、見直しを随時行っていく。(参考:H26-H29平均 1,809千円)
②指導者育成・派遣事業				
1	指導者派遣団体の延数 算出方法 指導者育成・派遣事業において指導者を派遣した団体の延べ数	19団体	19団体	多くの地域でスポーツグループからの要請があり、これらの要請に応えていくようにするが、経費の関係で現状維持に努める。 (参考:H26-H29平均 17団体)
2	指導者派遣述べ日数 算出方法 指導者育成・派遣事業に対し、指導者派遣している日数の合計	299日	300日	指導者派遣システムの確立には各種目単位の指導者を多く育成並びに派遣する必要がある。このため講習会多く開催し、より多くの指導者の登録・派遣を達成する。 (参考:H26-H29平均284日)
3	指導者研修回数 算出方法 指導者育成・派遣事業において、指導者の研修会の合計	1回	2回	費用対効果に配慮しながら、できる範囲内で地域グループからの希望に副えるよう、指導者の育成のための研修会を設定する。 (参考:H26-H29平均 1.5回)

4	事業別の行政サービスコスト		事業別の財政支出を把握するための重要な指標となる。	442千円	54千円	自己収入よりも事業費コストが上がらないように経費の削減、見直しを随時行っていく。 (参考:H26-H29平均 257千円)
	算出方法	事業別の財政支出を算出				
<b>③施設管理運営事業</b>						
1	施設運営獲得数		安定した経営基盤の確立及び、市民にスポーツの場を提供する上で重要な指標となる。	3回	4回	とどろきアリーナ、青少年の家、宮前スポーツセンター、富士見管理の事業を行っている。また、新しい施設管理事業への参入準備を行っている。
	算出方法	施設管理事業として獲得した施設の数				
2	管理運営収入		補助金の削減を補い、自主財源を増額する上で重要な指標となる。	34,676千円	54,351千円	補助金の削減を補い、自主財源を増額する。
	算出方法	施設管理事業としての運営収入の合計				
3	事業別の行政サービスコスト		事業別の財政支出を把握するための重要な指標となる。	△4,604千円	△3,080千円	自己収入よりも事業費コストが上がらないように経費の削減、見直し並びに新規指定管理事業への参入を行っていく。
	算出方法	事業別の財政支出を算出				

**経営健全化に向けた事業計画**

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方		
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度			
<b>①正味財産の増加</b>						
1	正味財産合計		事業の見直しや、本部経費等の削減が行われているかを知る上で重要な指標となる。	192,952千円	171,680千円	自己の財源を確立させられるよう事業の見直し、一部廃止、本部経費等の削減を行い正味財産の赤字の解消を行っていく。このためには収益性を高めていく方策を立てていく。 (参考:H26-H29平均 210,904千円)
	算出方法	(資産合計) - (負債合計)				
<b>②正味財産収入の増加</b>						
2	正味財産の収入額		補助金の削減を補い、自主財源を増額する上で重要な指標となる。	172,868千円	181,266千円	自己の財源を確立させられるよう事業の見直し、一部廃止、本部経費等の削減を行い正味財産の収入の増加を行っていく。(参考:H26-H29平均263,129千円)
	算出方法	収入の合計				
<b>③正味財産増減計算書の当期増減額</b>						
3	当期経常増減額		光熱水料費や消耗品などの経費削減策の実施状況を知る上で重要な指標となる。	△17,055千円	△1,734千円	最低限での人員配置による人件費の削減、各事業の見直しによる経費削減を行うために管理固定費の削減を進めていく。(参考:H26-H29平均 ▲4,557千円)
	算出方法	(経常収益) - (経常費用)				

業務・組織に関わる計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①市民ニーズに対応する法人組織体制の構築				
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0件	0件	これまでに事案が発生したことはなく、今後も違反事例を発生させることなくコンプライアンスを遵守する。
	算出方法 コンプライアンスに反する事案の発生件数			
2	研修会・協議会等への参加者数	2人	4人	研修会・協議会等に参加し、職員・プロパーの資質向上を図る。
	算出方法 研修会・協議会等に参加した職員プロパーの人数			
②適正な業務運営				
1	定期的な経営会議の開催数	4回	4回	定期的に運営会議や事業運営会議を行い、協会全体の経営計画の策定及び評価や施設運営管理状況の把握を行い改善していく。公益法人として公益性の高い組織等の整備や改革を今後行っていく。
	算出方法 定期的に行われた経営会議の開催数			